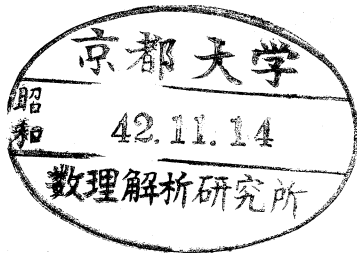


K-510

数理解析研究所講究録 28

動的計画法研究会報告集



京都大学数理解析研究所

1967年9月

## 序

この報文は、京都女子大学理研研交会で  
本年2月16日及び18日、開催された共同研究  
「動的計画法シンポジウム」における8つの  
報告のすべをのせしものがある。多数の参加者が  
あり、いろいろの質疑討論があり、とくに最  
終日は総合討論を行って問題点を整理  
するとまじ行った。シンポジウムとしては、これ  
らの討論等ものせしかつこのあか、今回は  
開の合やす、実現できなかったのは残念である。

動的計画法の研究は、わが国ではまだ緒  
いついた段階にある。こののせよに諸報告の  
各々は、行勢の新しい成果の報告であか、  
同時にいろいろ殊にわが研究分野があること、  
広い範囲の方々の見ていたことには有益なる  
ことであらうと思う。

なほ本年度も昨年度のむきつき、この共同研  
究シンポジウムを行う計画があつた、1968年  
2月中旬を予定している。

1967年8月

研究員代表

北川 勇男

# 動的計画法研究会報告集

1967年2月16日～2月18日

## 目次

1. 柳井 浩 動的計画法における退化現象 ..... 1
2. 南 正 義 確率的系における最適制御過程  
について ..... 15
3. 小田中 敏 男 動的在庫過程 ..... 49
4. 坂口 実 ダイナミックプログラミングと  
ベイズ適応制御系 ..... 61
5. 坂本 武 司 マルコフ決定過程(1) ..... 75
6. 古川 長 太 マルコフ決定過程(2) ..... 87
7. 北川 敏 男 動的計画法による配分過程  
..... 105
8. 小河原 正 己 確率的動的計画法における一、二  
の注意 ..... 145